

脱原発・放射能汚染を考える

5/19 老朽原発うごかすな！ 関電包囲全国集会 関西電力本店前で13時から/15時半から御堂筋デモ

関電は、今年で45年、44年超えとなる老朽原発・高浜1・2号機と、43年となる美浜3号機を再稼働させようとしている。老朽原発の日常的危険性と汚染の危険性を無視して利益を優先している。そして経団連は60年以上に延長することを提言するなど、電力会社と原発企業の利益のために、地域住民の安全性や健康のことは考えていない。

老朽原発＝高浜1・2号機、美浜3号機は廃炉に

原発は、一たび重大事故を起せば、職場を奪い、農地を奪い、海を奪い、人の命と尊厳を奪い去る。チェルノブイリ事故、福島原発事故が大きな犠牲を通じて、それを教えている。福島原発事故から8年、今でも事故炉内の様子もわからず、冷却しないと危険な状態のままで、結果として、汚染水は溜まり続けている。多くの被害者が、苦難の生活を強いられている。

関電は、老朽原発＝高浜1・2号機と美浜3号機を再稼働させようとしている。規制委は許可を与えた。しかし安全工事が進まず再稼働は遅れている。関電の利益のために再稼働することは許せない。例年開かれる関電本社前での集会に参加しよう！ 関電への抗議の声をあげよう！

経団連「原発再稼働と新增設」を提言

経団連は4月8日に「日本を支える電力システムを再構築する」との提言を発表した。日本の電力は危機に直面し

ているとして、原発の再稼働や新增設を提言し、運転期間については停止期間を運転時間から減算すること、延長20年を更に伸ばすことを主張している。そして、政府の「財政投融资の活用」＝「くれてやり」を要求した。

中西経団連会長は、「国民的議論」と言いながら、「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」からの公開討論は拒否し、身内の利害関係者とだけで、提言をまとめている。

藤沢市議会、「日米地位協定」見直し請願

昨年7月に、故翁長沖縄県知事の遺志を継いで、「全国知事会」の提言として、「日米地位協定見直しの提言」がまとめられた。資料では、日本が独、伊と比べて米軍駐留についての条件が異様なまでに米軍の支配下であることが示され、その改定が提言された。日本では、駐留米軍人・軍属には国内法は適用されず、地元自治体の基地内への立ち入り権はなく、自国警察の立ち入り権すらない。また、訓練や演習の許可・承認権もない。

藤沢市ではこの提言をもとに、「日米地位協定の抜本的改定を求める意見書」の採択が9条の会などの市民団体から請願され、3月1日の市議会本会議で賛成多数で可決成立した。沖縄県民の基地反対の民意にこたえ、本土からの闘いとして、全国に広まる必要がある。

イージス・アショアミサイル配備反対の声が、山口・青森の地元では圧倒！ 防衛省は口先では「地元の理解」を強調しながら、既定路線での強行を準備

イージス・アショアの国内配備は、2015年に安倍首相が米国で、トランプ大統領とゴルフをしながら、米国の軍需産業を支援してくれと要求されて購入を決めたもので、国会での審議もなしに閣議決定したものである。

北朝鮮から、山口・萩の先にはグアム基地が、秋田の先にはハワイの基地がある、米軍のための設備である。

秋田県の地元の反対には「地元の理解が大前提」

秋田の候補地「新屋演習場」の近隣16町内会がつくる新屋勝平地区振興会、豊岩地区振興会が反対を表明し、秋田県では秋田市など11の市町村議会に反対の陳情・請願が提出されている。3月26日には秋田県知事は防衛省を訪れ、「配備にあたっては地元の意見を最大限尊重する」ことを求め、副大臣は「十分な安全対策を行い、地元の皆さんの理解を大前提として、地元の理解のないままには進めない」とした。県議会、市議会が地元住民を裏切らないように運動の強化が課題だ。

山口阿武町では配備撤回要求が全会一致で

萩市のむつみ演習場周辺の阿武町では、昨年6月に防衛省による地元説明会が開かれた。予定以上の200人の町民が参加し、配備計画に反対し、撤回を求める

意見が沸きあがった。国民を守るのではなく、攻撃目標になる施設は要らない。こんなものが出来ると新しい住民が来なくなり地域が疲弊する。「安倍首相のお膝元だから反対するのは言語同断」と言うのに憤りを覚える。強力なレーダーはペースメーカー等の正常動作を妨害し、高齢者の生命を危険にさらす。などの意見が出た。9月20日には阿武町長が反対を表明し、町議会も全会一致で、基地反対の住民の請願を採択した。山口県知事・議会の監視を！

沖縄県民の基地反対の民意を無視する安倍政権

住民の反対の民意を無視して基地建設を強行するのは安倍政権の常套手段である。口先では「地元住民の意見を聞き」といいながら、沖縄では知事を利権で籠絡して埋め立てを認めさせなど悪辣な手段で強行してきた。沖縄では先日の「県民投票」での圧倒的民意を無視して基地建設を続けている。とりわけ沖縄に対しては、何度も表明される民意を警察力と裁判所の不当な判決で屈服させようとしている。沖縄県民の闘いに連帯を！



辺野古埋立て



5/3 輝け憲法! 平和といのちと人権を! おおさか総がかり集会

5月3日に、毎年行なわれている護憲と反戦・平和の行動が今年も行われる。主催は、大阪憲法会議、戦争をさせない1000人委員会、しないさせない戦争協力関西ネットワークの3者共闘。扇町公園で13時半から。集会後3コースに分かれてデモ行進!

4/23 「戦争法」違憲訴訟 第10回口頭弁論に結集を!

23日(火)15時から、第2法廷で第10回口頭弁論が開かれる。すでに32人の陳述書が提出され、30人が準備中である。証人尋問は5月22日に法廷は確保されていますが、何人の尋問が実現するかは、23日の口頭弁論で決定される。東京の裁判では承認申請が却下されている。会場を埋め尽くす傍聴で証人尋問を実現しよう。

4月29-30日「アジアから問われる日本の戦争」展

「アジアから問われる日本の戦争」展



いま日韓関係が冷え込んでいると言われています。「徴用工」問題、日本軍「慰安婦」問題に代表されるように、過去の戦争と植民地支配をめぐる「歴史認識」の隔たりがその根底にあります。

私たちは過去の歴史をどれだけ直視しているのでしょうか?

2013年、「ピースおおさか」はこれまで展示していたほとんどの加害展示を撤去し、被害についても真正面から受け止めるのではなく、善しざわりのないものに差し替えられました。

ピースおおさかで、加害展示を見る見学者

現在「ピースおおさか」を訪れる見学者(特に子どもたち)は、侵略戦争における残酷な加害の歴史も、また侵略戦争にかり出された日本人たちが遭った不条理な被害の歴史も知らされないまま、誤った「歴史認識」を抱え付けられています。

いまほどアジアから「歴史認識」を問われているときはないというのに、新聞やニュースを見ても、教科書を読んでも、アジアからの問いはほとんど載っていないのです。

わたしたちはアジアから問われている本当の「歴史認識」を、市民の手で取り戻す作業を始めたいと思います。



【会場】阿倍野市民学習センター
地下鉄谷町線阿倍野駅7号出口より地下直結

常設展示 (予定・順不同)

- ▶ 大坂城の狛犬さん物語
- ▶ 1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会
- ▶ こどもたちに伝えたい沖縄の今
- ▶ ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会
- ▶ 絵本で見る中国人強制連行「ゆみこちゃんと王おじさん」
- ▶ 関西わだつみ会
- ▶ アジアから問われる毒ガス問題
- ▶ 日本の朝鮮植民地政策
- ▶ 未来のための歴史パネル展(みれば)
- ▶ 現地から伝えるフクシマ写真展
- ▶ 写真展
- ▶ 卒業アルバムから
- ▶ 天理・柳本飛行場の説明版
- ▶ 日韓同時設置プロジェクト
- ▶ 韓国の原爆被害者を支援する市民の会
- ▶ 「南京大虐殺」で、本当にあったの?
- ▶ ピースおおさかから撤去された加害と被害
- ▶ 日本軍「慰安婦」問題ってなあに?

※各展示のほか、映像作品で学ぶコーナー等もあります。

4/29 13:30~14:00

サブイベント・絵で見る
プロジェクト上映

「日清・日露戦争と韓国『併合』 百周年：3・1抗日独立闘争」

講師 久保井規夫 さん(アジア民衆歴史センター)
※10時半/14時から展示の解説を行います

サブイベント・ライブ

「いま、街頭から音楽が生まれてるよ」

14:00~ 不起立ブラザーズ

卒業式・入学式の「君が代」斉唱で立つことができない、歌うことができない教員たちの、子どもたちへのメッセージソング。

14:30~ 川口真由美 さん

京都在住のシンガーソングライター。障害者施設代表。3人の子供を育てるシングルマザーでもある。

辺野古には月1回ベースでゲート前の座り込みなどに参加。「歌」や「踊り」で連帯を続けている。肩を寄せ合い、力を寄せ合いながら生きる人々の中で、悩み、葛藤しながら紡いだ詩とメロディーの力強さは、多くの人々の心に響いている。そして、倒れても立ち上がり前に進む力を与えてくれる。



15:30~ Swing MASA さん

大阪とニューヨークを拠点に活躍するジャズサクソフレイヤー。女性による女性のエンパワメントのためのバンドを率いるフェミニストである。また大道寺将司(死刑囚)の俳句を曲中に用いるなど徹底した死刑廃止論者でもある。

毎月6日に開催されるロックアクションや梅田解放区などの街頭行動に積極的のサクソを持って参加。代表曲「Don't Kill」はコールに欠かせない曲となっている。



自衛官2人をシナイ半島に派遣

(4/3)朝日

安倍政権は「戦争法」に基づいて、国連以外の「多国籍監視軍」の司令部要員に2人を派遣する。米軍の「武器等防護」、米海軍への燃料補給が日常化し、自衛隊の米軍の補助部隊化が進んでいる。

「幸福度」日本は世界58位に落下

(2/21)朝日

国連の関係団体が「世界幸福度ランク」を発表した。日本は過去最悪の58位となった。「人生の選択の自由度」64位、「社会の寛容さ」(92位)がその落下の理由。

自衛隊 宮古島島民をだまして誘導弾を持ち込み。

(4/3)朝日

宮古島に開設された自衛隊駐屯地に、当初は「小銃弾や発煙筒」を保管すると説明しながら、実際には「中距離多目的誘導弾」などが持ち込まれていた。住民の抗議によって、砲弾は撤去されたが、今年末には地対艦・地対空の誘導弾部隊が配備され、宮古島は対中国の前線基地とされようとしている。

4/30 13:00~

メインイベント・シンポジウム [資料代:500円]

「アジアから問われる日本の戦争」

トークゲスト 徐京植 さん

1951年京都生まれの在日コリアン2世。東京経済大学教授・図書館長。韓国良心囚であった兄の徐勝・徐俊植の救援運動に従事し、90年代以降は日本軍「慰安婦」問題等でも発信を続け、現在は日本の植民地主義について厳しく問う言論活動を展開している。著書に『植民地主義の暴力「ことばの権」から』『詩のカー「東アジア」近代史の中で』『日本リベラル派の頹落』(ともに高文研)『フクシマを歩いてーディアスポラの眼』(毎日新聞社)など多数。



トークゲスト 林伯耀 さん

1939年神戸生まれの在日中国人2世。旅日華僑中日交流促進会共同代表。中国人強制連行、南京大虐殺、関東大震災下での中国人虐殺問題等、戦後責任を問う活動を続けている。

コーディネイター 黒田伊彦 さん

1936年生まれ。元教員として解放人権教育に携わってきた。「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワーク代表等。

サブイベント・映画上映

10:00~ [日本軍「慰安婦」問題]

絵本『花ばあば』朗読

10:25~ アニメ映画『はだしのゲン』上映

サブイベント・おはなし

10:00~ 森松明希子 さん(原発賠償関西訴訟原告団代表)